

第 2 回 災害等支援対策本部会議 次第

日 時:令和6年1月18日(木)14時
場 所:大阪府災害対策本部会議室

1.石川県輪島市派遣職員(本隊第一陣)の活動報告

2.これまでの支援状況について

3.各部局からの報告

石川県輪島市派遣職員（本隊第一陣） 活動報告

令和6年1月18日
大阪府危機管理室

輪島市の被害状況

《輪島市の位置》



《輪島市の被害状況》

石川県第23回災害対策本部員会議（1月16日16時）より

地震の震度 (1日16時10分)		震度 6 強
人的被害	死者	88名（うち災害関連死3名）
	安否不明者	18名
	重傷者	195名
	軽傷者	302名
住家被害		全壊、半壊、一部破損多数
避難状況		137箇所に6,226名 (R5.11の住基人口23,266名)
停電		約5,100戸
断水		約10,000戸（ほぼ全域） 被害状況確認中
孤立集落		5地区 128名

《カウンターパート》

総務省「応急対策職員派遣制度」（1月13日10時）より

受援団体	総括支援団体	対口支援団体
輪島市	三重県	三重県、東京都、川崎市、大阪府 大阪市、堺市、徳島県、北海道、 長野県、静岡市、岐阜県、愛媛県

《輪島市役所でのリエゾン》

主な活動内容

- ・対口支援リエゾン会議などへ出席
- ・避難所運営職員との支援調整
- ・人員派遣要請に関する調整
- ・被災地のニーズ把握等

輪島市における他の対口支援団体

大阪市、堺市

三重県、東京都、徳島県、北海道、長野県、川崎市、静岡市、岐阜県、愛媛県

出席会議

AM8時頃 対口支援リエゾン会議

PM7時頃 輪島市災害対策本部員会議

PM8時頃 輪島おONEチーム会議



輪島市 対口支援リエゾン会議

《避難所運営支援》

運営支援場所

輪島中学校・河井小学校

活動体制

14名/1日



輪島中学校体育館



輪島中学校体育館 入口



校舎内(病室管理業務打合せ)

避難所運営の活動状況

《避難者数》

令和6年1月16日15時時点

輪島中学校 479人(うち体調不良者31人)
(最大避難者数 約900人)

河井小学校 180人(15日15時時点)

《主な活動内容》

支援物資の移動・整理

食事の配給(配膳)

ごみの収集

トイレ清浄

高齢者の介助(トイレなど)

病室の管理補助

感染症発症者の荷物移動

河井小学校体育館



輪島中学校体育館



輪島中学校 トイレ



避難所運営等を通じた現地のニーズと対応状況・今後の課題と対応方針

先遣隊が把握したニーズへの対応状況

- ・避難所運営の人手が不足
- ・支援物資の荷捌きが遅延

1月10日より大阪府・大阪市・堺市・府内市町村で避難所運営・支援物資荷捌き支援に向けた応援人員を派遣

- ・洋式トイレの不足
- ・衛生環境が悪い

トイレは、経済産業省が対応
衛生環境改善に向け、1月15日より石川県に対し衛生関係職員や保健師を派遣

新たなニーズ・課題と今後の対応方針

人的支援のニーズ

- ・輪島市職員の体調不良が続出、人員不足が加速

- ・1月16日より大阪府は人員派遣を4人増、さらなる人員派遣を実施

物的支援のニーズ

- ・食事が単調・栄養不足が懸念
- ・生活用品等各種物資の要望

- ・大阪府からキッチンカーを4台派遣
- ・ニーズに沿った物資について、府内市町村からの支援を集約し現地に配送

今後も、日々変化する被災地のニーズを的確に捉え、人的・物的支援を実施

令和6年1月16日(火)現在

令和6年能登半島地震に対する大阪府・大阪市・堺市のこれまでの支援の経緯

※【】記載のないものは大阪府

月日	支援内容	備考
1月1日(月)	大阪府災害等支援対策室設置	
	消防庁より大阪市消防局に指揮支援隊・統合機動部隊・大阪府大隊の出動要請 ※1月17日現在、合計55隊とヘリ1機により211名が輪島市で活動中 派遣人数延べ約3400人	現時点で把握できる最新値を掲載
	DMAT災害拠点18病院が待機（厚生労働省から1月2日待機解除連絡あり）	1月9日DMAT派遣要請 (1月10日から17日)
	【大阪市】 緊急消防援助隊派遣(消防庁長官の指示により出動) 大阪市消防局指揮支援隊、航空隊出動 第1次派遣時 出動隊23隊 85名、ヘリコプター1機5名 計90名 これまでの派遣人数 1月14日現在346名 活動場所:輪島市輪島地区、門前地区	
1月3日(水)	全国被災建築物応急危険度判定協議会の要請を受け、被災建築物応急危険度判定への応援のため、4名を派遣(大阪府2名、和泉市2名)(石川県)	1月3日到着
	日本水道協会の要請を受け、3市1団体により給水車6台を派遣(石川県) (大阪市1台、堺市2台、豊中市1台、大阪広域水道企業団2台)	(泉佐野市、交野市は富山県高岡市で給水活動 1月5日活動終了)
	【大阪市】 災害等支援対策室設置	

月日	支援内容	備考
1月3日(水)	【堺市】 救援対策本部会議実施 職員派遣、備蓄物資支援等決定	
1月4日(木)	給水車派遣台数1台追加で7台に(大阪広域水道企業団が1台追加)(石川県)	
	関西広域連合において、大阪府、大阪市、堺市、徳島県と共同で輪島市をカウンターパート支援することが決定	
	大阪府災害等支援対策指令部設置	
	備蓄物資支援を開始(七尾市・羽咋(はくい)市) (食料10万8千食、ペットボトル飲料水5万本、毛布1万2千枚、おむつ大人用1万枚、おむつこども用7千枚、生理用品約5万4千個、ブルーシート2千枚など)	1月6日までに 全て到着
	【大阪市】 環境省及び全国都市清掃会議からの要請を受け、被災地状況把握のため、1名派遣(輪島市、珠洲市など) (1月4日～1月7日)	
1月5日(金)	令和6年能登半島地震 大阪府義援金の募集の開始 大阪府庁 本館1階・別館1階・咲洲庁舎1階 の3カ所に募金箱を設置	
	大阪府災害等支援対策指令部会議を開催	
	大阪府先遣隊リエゾン4名を派遣(輪島市) 同時に大阪市4名、堺市2名(1月6日2名を追加派遣)を派遣(輪島市)	1月6日到着
	第1回令和6年能登半島地震における支援に関する市町村会議を開催	

月日	支援内容	備考
1月5日(金)	【大阪市】 備蓄物資支援を開始（七尾市・志賀町・中能登町） （おむつこども用1,824枚、生理用品4,320個、子ども用ミルク720缶、哺乳瓶340本）	
	【大阪市】 医師及び保健師等の派遣（医師1名、保健師2名、事務1名、技能職員1名）（能登町） （1月6日～1月11日）	
	【堺市】 令和6年能登半島地震災害義援金（日本赤十字）の募集を開始 堺市 本館1階、3階・高層館1階・各区役所の10カ所に募金箱を設置	
1月6日(土)	厚生労働省からの要請を受け、DHEAT(医師2名、保健師2名、ロジ担1名/班)、 保健師チーム(保健師2～3名、ロジ担1～2名/チーム)を派遣 ・DHEAT1月7日から24日（府、堺市、一部中核市保健師含む）（穴水町） ・保健師チーム1月7日から2月29日(大阪市、堺市)（能登町）	
	【堺市】 備蓄物資支援を開始 ・備蓄物資支援先:石川県（津幡町、内灘町、宝達志水町） （食料39,800食、ペットボトル飲料水15,000本、携帯トイレ4,500枚、トイレットペーパー1,104ロール、ブルーシート500枚など）	

月日	支援内容	備考
1月7日(日)	被災建築物応急危険度判定応援の交代要員として2名を派遣 七尾市、穴水町、輪島市の実施本部要員として活動(～10日まで)	1月7日到着 1月11日帰阪
1月8日(月)	【大阪市】 下水道の復旧に関する連絡調整・現地調査等 支援調査隊の派遣職員4名(能登町・穴水町及び石川県庁)	
	【堺市】 保健師チームとして保健師2名、事務職員2名を派遣(能登町)	
1月9日(火)	大阪府災害等支援対策本部設置 知事を本部長とする全庁体制による能登半島地震支援体制へ移行	
	令和6年能登半島地震災害支援対策にかかる大阪府・大阪市・堺市合同会議を開催	
	府営住宅等における被災者の受け入れ(受付開始) 府営住宅(当面100戸)、民間賃貸住宅(マンスリー物件100戸想定) ※別途、大阪市市営住宅(100戸)・堺市市営住宅(12戸)の空き住戸の提供	

月日	支援内容	備考
1月9日(火)	厚生労働省よりDMAT 5チームの派遣要請(1月10日から17日) ①金沢市内の臨時の医療施設(待機(酸素)ステーションを想定)での救護活動 ②石川県立中央病院にあるDMAT活動拠点本部における本部業務 災害拠点病院と調整し、派遣 DPAT(災害派遣精神医療チーム)を派遣(石川県) ・精神医療C(1月9日出発、1月10日から13日) [医師1名、看護師2名、業務調整員1] ・さわ病院(1月12日出発予定、1月13日から15日) [医師1名、看護師1名、業務調整員1]	
	府内に避難された被災者の健康保険証に関する相談対応を市町村国保に要請	
	【大阪市】 応急給水・水道施設応急復旧活動 派遣職員10名(1月9日～1月17日)(能登町)	
	【大阪市】 被災地域の児童生徒等の受入れ支援について各市立学校園に通知	
	【大阪市】 災害対策支援室を、大阪市災害等支援対策本部に格上げ 市長を本部長とする全庁体制による能登半島地震支援体制へ移行	

月日	支援内容	備考
1月10日(水)	避難所運営などを支援するため28名を派遣(輪島市) (大阪府、大阪市、堺市、高槻市、東大阪市)	1月11日到着
	厚生労働省よりDMATロジチームの派遣要請 期間:1月12日から1月28日 (6医療機関から7名を順次派遣) 派遣先:活動拠点本部(穴水町、能登町、輪島市、珠洲市)	
	【大阪市】 下水道の復旧に関する連絡調整・現地調査等 支援調査隊の追加派遣職員等6名(能登町・穴水町)	
	【堺市】 備蓄物資支援を発送(輪島市) ・マスク100,000枚	1月10日までに 全て到着
	【堺市】 下水道の復旧に関する連絡調整・現地調査等 支援調査隊の派遣職員4名(白山市)	
	【堺市】 被災者支援ワンストップ相談窓口の設置 ・市内に避難された方の相談窓口を一本化し、必要な支援を所管する部局へ案内するなど庁内連携体制を構築し、被災者の負担軽減を図る。 ・市営住宅の無償提供や上下水道料金の無料化をはじめ、16の支援メニューをとりまとめて公表 ※詳細は備考欄のHPを参照	https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/kanren/tatoshi/notohanntoujishin/hisai/index.html

月日	支援内容	備考
1月11日(木)	DPAT(災害派遣精神医療チーム)を石川県に派遣調整 ・阪南病院 1月18日から21日(1月17日出発)[医師1名、看護師2名、業務調整員2] ・精神医療C 1月18日から20日(1月17日出発)[医師1名、看護師2名、業務調整員1]	
	【大阪市】 義援金の募集開始	
1月12日(金)	令和6年能登半島地震中小企業等向け相談窓口や支援策についてとりまとめの上、公表	
	被災建築物応急危険度判定士 10名(大阪府、大阪市、堺市、高槻市、茨木市)派遣(輪島市) (1月13日から1月15日) ※堺市は1月14日(日)~1月16日(火)	1月12日到着
	保健師チームの追加派遣要請 期間:1月15日から2月29日(輪島市)	
1月13日(土)	物資支援1月13日 ・支援先:輪島市(府が避難所支援を行っている輪島中学校) ・日 時:1月13日 中部防災拠点を出発、1月14日に全量到着済 ・物資量:手指消毒液(500ml 940本)、ボディシート(15,000枚)、洗面セット(タオル)(500枚)、ウェットティッシュ(7,680枚)、下着肌着(紳士用300枚、婦人用700枚)、フロア用クッションマット、牛乳(200ml)(6,048本)、哺乳瓶(60本)、歯ブラシ(2,000本)、マスク(36,000枚)	
	厚生労働省よりDMAT隊及び及びロジチームの追加派遣要請 ・DMAT隊5チーム 期間:1月18日から2月4日 ・ロジチーム(国立大阪医療センターから看護師1名) 期間:1月15日から19日(輪島市)	

月日	支援内容	備考
1月14日(日)	大阪市が応急給水を終了し応急復旧に活動内容を変更、現在計6台の給水車が穴水町で活動中	
	【大阪市】 全国都市清掃会議及び環境省からの要請を受け、輪島市等の避難所のごみ及び生活ごみの収集に関する支援のため職員等を派遣 先遣隊：1月14日～18日 職員4名 本体：1月16日～20日(予定) 職員12名・車両6台	
1月15日(月)	輪島市に民間事業者と連携してキッチンカーを派遣し、食事を無償提供	1月16日より活動
	府へ避難を希望する方やご親族の方等からの福祉相談窓口を設置	
	府営住宅等へ入居される被災者への医療・教育等の生活支援窓口を設置	
	豊中市が応急給水を終了し応急復旧に活動内容を変更 泉大津市及び高石市が応急給水に追加派遣 現在、計6台の給水車が穴水町で活動中	
1月16日(火)	避難所運営などを支援するため4名を追加派遣(輪島市)	1月17日到着

令和6年能登半島地震に対するその他団体等の支援の状況

令和6年1月15日(月)現在

月日	支援内容	備考
1月1日(月)	日本歯科医師会にて、令和6年度能登半島地震災害対策本部を設置	
1月2日(火)	日本赤十字社大阪府支部大阪府支部(大阪赤十字病院)より 災害医療コーディネートチームを派遣 1月2日から1月6日 (1月23日から27日に第2班を派遣予定)	
	AMAT(全日本病院医療支援班) 1月2日から1月11日、全国で計43隊(1月9日時点)が活動。 うち4隊が大阪府内の病院から派遣(大阪中央病院、大阪暁明館病院、北野病院、加納総合病院)	
1月3日(水)	日本栄養士会から、各都道府県栄養士会に状況報告メール ・現在石川県栄養士会を中心に活動実施 ・今後の状況により、近県からの支援活動を要請する可能性有	
1月4日(木)	日本赤十字社 大阪府支部(大阪赤十字病院)より 救護班を派遣(医師、看護師・事務)(1月4日から1月31日(予定))	
1月5日(金)	大阪府医師会(JMAT) 日本医師会から都道府県医師会に派遣要請。1月9日にWEB等による災害対策本部会議を開催、府医師会において医師派遣調整中。	
1月8日(月)	KISA2隊 1月8日から穴水町で医療福祉支援活動開始(医師2名、看護師3名)	
1月9日(火)	大阪府薬剤師会から2名が、石川県薬剤師会へ薬剤師派遣調整のため現地入り (状況と現地のニーズ把握、今後の薬剤師派遣業務調整等)	

月日	支援内容	備考
1月9日(火)	大阪葬祭事業協同組合では、石川県から全日本葬祭業協同組合連合会へ以下の要請があり、具体的な数や内容を把握次第対応 ・ 遺体搬送用寝台車、骨壺、棺桶、納体袋などの葬祭関連品、人員の確保	
	日本看護協会からの依頼により、大阪府看護協会から災害支援ナースを派遣 期間:1月9日から12日(5名) 1月12日から15日(6名) 派遣先:市立輪島病院、宇出津(うしつ)総合病院(能登町)	
1月10日(水)	大阪府薬剤師会 薬剤師3名 派遣開始 JMAT派遣への薬剤師の帯同を決定	
1月12日(金)	大阪府看護協会 災害支援ナース6名を派遣 期間:1月15日から18日(輪島市)	
1月13日(土)	JMAT派遣 期間:1月13日から19日(予定)・派遣規模:5人程度 活動にあたり、コロナインフルコンボ検査キットを2,400キット、府から提供済	
1月14日(日)	大阪府歯科医師会 ・府歯科医師会寄贈ハブラシ2,000本送付(輪島市)	
1月15日(月)	大阪府薬剤師会 1月18日から輪島市門前町でモバイルファーマシー(災害対策医薬品供給車両)活動開始 薬剤師2名、運転手1名	

各部局からの報告

令和6年能登半島地震の応援介護職員等の確保及び 大阪府に避難を希望する方の福祉相談窓口の設置について

①応援介護職員等の確保状況

- ◆令和6年能登半島地震において、高齢者施設や障がい者施設等も被災しており、施設への人的被害が課題となる中、国において介護職員等の派遣の調整が進められている。
- ◆大阪府においては、府内社会福祉施設や福祉関係団体等のご協力により、多くの派遣の応募いただいた。
- ◆今後、国等において石川県と調整し、順次、介護職員等が応援に行く予定。

【令和6年1月12日時点の応募数】

	施設数	職員数
高齢者関係施設	39	75
障がい児・者関係施設	50	118
生活保護・婦人保護・ 児童・母子関係施設	6	21
合計	95	214

※今後も随時、派遣希望の応募受付

②大阪府に避難を希望する方の福祉相談窓口の設置

◆福祉相談窓口◆

介護施設入所や居宅での介護サービス等、大阪府に避難した場合の福祉サービス等について、被災された方
やご親族の方からの相談を受付ける窓口を設置（1月15日より設置）

- ・開設時間：平日 午前9時から午後6時まで
- ・お問合せ番号：06-6944-8267

令和6年能登半島地震における対応について、石川県から厚生労働省を通じて、DHEAT(※)の派遣要請があり、1月6日(土)から下記のとおりDHEAT派遣。

※ DHEATとは、一定規模以上の災害が発生した際に、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所が担う指揮・総合調整(マネジメント)機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成される応援派遣チーム
チームは、医師1名、保健師2名、ロジ2名の5名で構成



【派遣期間】 令和6年1月6日(土)から 同月24日(水)まで
(期間中、1週間交代で3チームを派遣)

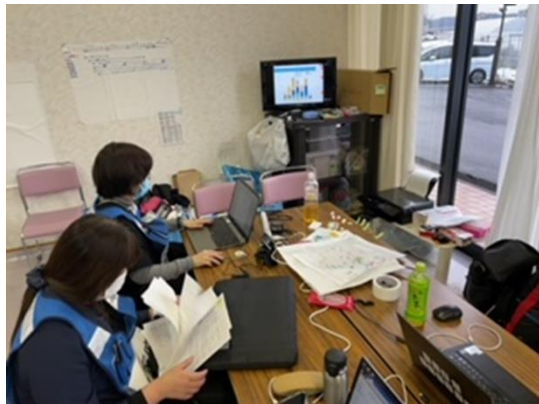
【派遣場所】 穴水町保健センター

【活動内容】

- 穴水町保健医療福祉調整会議の立ち上げ、町災害対策本部との連携
- 石川県庁との調整
- 保健師チーム、関係機関(DMAT等)と避難所支援の調整
- 1.5次、2次避難所への対象者の選定

【今後の対応】

- 未就学児へのケアを支援団体等と実施
- 在宅避難者の情報収集



現地での作業



穴水保健医療調整本部会議



穴水町・他府県応援保健師との会議

保健師等チームの派遣報告について

健康医療部

令和6年能登半島地震における対応について、石川県から厚生労働省を通じて、保健師等チームの派遣要請があり、1月7日（日）から下記のとおり派遣。

【大阪市・堺市】

派遣期間：令和6年1月7日(月)から2月29日(木)まで

(保健師2名、ロジ1～2名を1チームとし、大阪市は13チーム、堺市は27チームを派遣)

派遣場所：能登町の避難所（活動拠点 町立宇出津(ウシツ)小学校)

【大阪府】

派遣期間：令和6年1月15日(月)から2月29日(木)まで

(保健師2名、衛生管理1名、ロジ1名を1チームとし、期間中22チームを派遣)

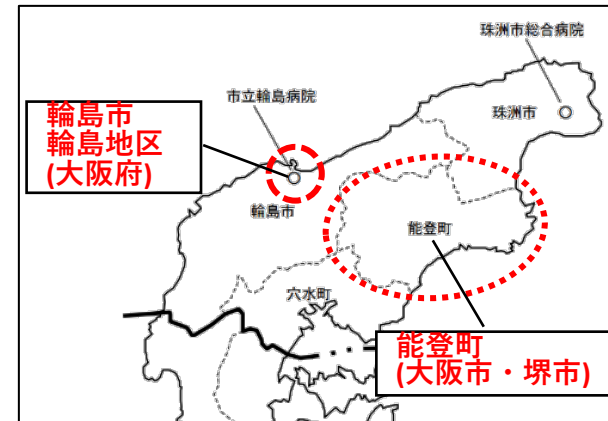
派遣場所：輪島市輪島地区の避難所（活動拠点 石川県能登北部保健所）

【活動内容】

- 避難者の健康支援
- 避難所の感染症対策
- 避難所の生活衛生の管理

【今後の対応】

- 効率的な巡回のため、現地医療班と連携して巡回実施
- 避難所運営スタッフも被災者であり、配慮が必要



保健師ミーティング
(能登北部保健所)



避難所の様子



避難所での健康支援

厚生労働省からのDMAT及びDMATロジスティックチーム隊員（※）の派遣要請を受け、
1月10日（水）から下記のとおりDMAT隊員等を派遣。

※ DMATとは、医師・看護師・業務調整員等概ね5名で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、
急性期（概ね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。
DMATロジスティックチームは、医療活動本部業務をサポートする専門チーム。

（１）DMAT 【派遣期間】 令和6年1月10日(水)から2月4日(日)まで

（1月9日（火）に厚生労働省より派遣要請）

【派遣場所】 石川中央DMAT活動拠点本部（石川県立中央病院内）

【DMAT隊の現時点での主な業務】 ※今後変更の可能性あり

①石川県立中央病院にあるDMAT活動拠点本部における本部業務

②金沢市内の臨時の医療施設（待機ステーション）での救護活動

（２）ロジチーム隊員 【派遣期間】 令和6年1月12日(金)から1月28日(日)まで

（1月10日（水）に厚生労働省より派遣要請）

【派遣場所】 各医療圏活動拠点本部

【ロジチームの主な業務】

各活動拠点本部での後方支援（穴水町、能登町、輪島市、珠洲市など）

●DMAT及びロジチーム隊員派遣状況（1月21日までの派遣分）判明分

	医療機関数	医師	看護師	業務調整員
DMAT	10医療機関	14名	17名	17名
ロジチーム隊員	5 医療機関	1名	2名	3名
計	<u>のべ17医療機関</u>	<u>15名</u>	<u>19名</u>	<u>20名</u>

2月上旬までで、すべての災害拠点病院からの派遣となる

※ただし、大阪赤十字病院は他枠で派遣



DMAT活動拠点本部

令和6年能登半島地震における対応について、厚生労働省(DPAT事務局)から、DPAT(※)の派遣要請があり、1月9日(火)から下記のとおりDPAT派遣。

※ DPATとは、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行うチーム。精神科医師、看護師、ロジ等で構成される。

1チーム:精神科医師、看護師、ロジにて構成する3～5名

【派遣期間】 令和6年1月9日(火)からDPAT事務局の派遣要請に従い順次派遣

〔活動期間〕	大阪精神医療センター	1/10～1/13	〔Dr 1名、Ns 2名、ロジ 1名〕
	さわ病院	1/13～1/15	〔Dr 1名、Ns 1名、ロジ 1名〕
	阪南病院	1/18～1/21	〔Dr 1名、Ns 2名、ロジ 2名〕
	大阪精神医療センター②	1/18～1/20	〔Dr 1名、Ns 2名、ロジ 1名〕 以後調整中

【派遣場所】 石川県DPAT調整本部(県庁内)、能登医療圏DPAT活動拠点本部(公立能登総合病院内)

【活動内容】 ・本部支援業務：連絡調整、記録、データ整理に従事し、本部の現状分析と課題抽出および活動方針立案ができるよう支援
・避難所等支援業務：精神科ニーズの把握、診察等

【課題】 現地での体制が未だ整っておらず、継続的な支援要請が見込まれる。



DPAT調整本部



能登医療圏DPAT活動拠点本部



能登医療圏DPAT活動拠点本部

※詳細は別紙『令和6年能登半島地震に対するその他団体等の支援の状況』を参照

大阪府医師会

- ・ KISA2隊 1月8日から穴水町で医療福祉支援活動
- ・ JMAT派遣 1月13日から志賀町で活動 活動にあたり、コロナインフルコンボ検査キットを2,400キット、府から提供済

大阪府歯科医師会

- ・ 府歯科医師会寄贈ハブラシ2,000本送付（避難所となっている輪島中学校）

大阪府薬剤師会

- ・ 1月10日から避難所へ薬剤師を派遣
- ・ 1月18日から輪島市門前町に府薬のモバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）を設置し、活動開始

大阪府看護協会

- ・ 災害支援ナース派遣 1月9日から市立輪島病院、宇出津（うしつ）総合病院（能登町）などで活動

日本赤十字社大阪府支部

- ・ 大阪府支部（大阪赤十字病院）より1月2日から災害医療コーディネートチーム、救護班を派遣

AMAT（全日本病院医療支援班）

- ・ 1月2日から11日まで大阪府内の病院から4隊活動

水道関係

- ・ 1月3日から日水協の要請により、府内水道事業体※が石川県へ給水車等を派遣
※大阪市、大阪広域水道企業団、堺市、豊中市、泉大津市、高石市
- ・ この他、1月2日に泉佐野市、1月3日に交野市が富山県（高岡市）へ給水車等を派遣

【その他健康医療部における支援】

- ・ 府内に避難された被災者の健康保険証や医療機関での窓口負担に関する相談対応を、国の通知に基づき市町村国保に要請
- ・ 府営住宅等へ入居される被災者への医療・教育等の生活支援窓口を設置

被災建築物応急危険度判定とは

- ・地震により被災した建築物の倒壊による二次的災害を防ぐため、応急的に目視等により危険度を判定。
- ・ステッカー表示【危険（赤）】【要注意（黄）】【調査済（緑）】により住民等へ注意喚起。

判定士等の派遣概要

- 実施本部要員（1/3～1/11、1/16～継続中）
大阪府、和泉市、八尾市からこれまで計8名（輪島市他4市町）
- 判定士（1/12～継続中）
大阪府、大阪市、堺市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、八尾市、松原市、東大阪市、門真市、河内長野市、貝塚市からこれまで計26名（輪島市）



提供住宅・受入れ状況

令和6年1月9日（火）から被災者受入を開始

・提供住宅：府営住宅 当面100戸

※別途大阪市、堺市の公営住宅112戸で受入

民間賃貸住宅（マンスリー物件）100戸（府市共同事業）

・自力で来阪が困難な方の移動を支援

（1月17日 18時時点）

	問合せ件数	入居者件数	入居希望件数
大阪府	86件	4件	18件
大阪市	30件	6件	15件
堺市	6件	1件	0件
合計	122件	11件	33件

受け入れ体制

石川県等からの
避難者

避難された方

親族・関係者等

相談
問合せ危機
管理
室

引継ぎ

都市整備部

【避難者の受け入れ・入居手続き】
被災者の府営住宅等への受け入れ

+

【入居者のサポート】
被災者の生活に関する相談窓口連携・
情報共有

各部署

- ・府税に関する申告・納付等の期限延長、減免等（財務部）
- ・旅券発給手数料の免除（府民文化部）
- ・介護、障がい福祉サービスの提供（福祉部）
- ・受診・急病時の相談等（健康医療部）
- ・こころ・ストレス関係相談（健康医療部）
- ・被災された中小企業等の経営相談等（商工労働部）
- ・就職に関する相談等（商工労働部）
- ・小中学校、高等学校での受入に関する調整（教育庁）

（市町村・関係機関と連携）
支援策を実施